

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

計画の名称	1 ”花のまち柴田創生” 「花（桜）回廊」で息づく市街地の新たなにぎわいの再生						
計画の期間	平成23年度 ～ 平成28年度（6年間）			交付対象	柴田町		
計画の目標							

人口減少・少子高齢社会を迎え、自然と調和しながら住民参加と協働の実践によるまちづくりを進めて、美しく質の高いコンパクトシティの実現を目指し、「花のまち柴田創生」を掲げ「花（桜）回廊」で息づく市街地の新たなにぎわいの再生にチャレンジします。これまで以上に県内外から多くの来訪者を迎え入れ、新たな交流（人・地域・産業）を深めながら、歩いて体感できる安全で快適なまちづくりを目指します。
船岡城址公園は伊達家臣原田甲斐の居城跡で、NHKの大河ドラマ「権ノ木は残った」の舞台にもなった歴史的・文化的資産としての評価も高い、町のほぼ中心に位置する総合公園です。その公園の桜と白石川堤の一目千本桜は日本の桜の名所百選に宮城県で唯一選ばれ、春には二十万人を超える来訪者を迎え入れる東北の代表観光地であり、市街地に花のある美しい都市空間を創出して花と緑が織りなす魅力あふれる景観づくりに努めます。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらの季節（4月）の船岡城址公園来訪者数を223,024人／日（H22）から255,000人／日（H28）に増加 ・さくらの季節（4月）の船岡城址公園大型観光バス乗り入れ数を324台（H22）から375台（H28）へ増加 ・ノルディックウォーカー延べ活動人数を1,188人（H22）から1,310人（H28）へ増加 ・公園施設（621施設／41公園）総数に占める改築更新（事後保全）数の割合を3.2%（20施設：H22）から2.3%（14施設：H28）に減少 						
----------------	--	--	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考	
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H28末)		
さくらの季節（4月）の船岡城址公園来訪者数	223,024人	240,000人	255,000人		
ノルディックウォーカーの年間延べ活動人数	1,188人	1,260人	1,310人		
公園施設の改築更新（事後保全）数	3.2%	2.7%	2.3%		
全体事業費	合計 (A+B+C) 1,430百万円	A 368百万円 (うち提案事業95百万円)	B 884百万円	C 178百万円	効果促進事業費の割合 (A+C) / (A+B+C) 19.1%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	交付期間終了後
柴田町において目標の達成状況やその要因の確認を行い事後評価を実施	公表の方法
	ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	都市再生	一般	柴田町	直接	柴田町	新船岡地区都市再生整備計画事業	道路改良1箇所、親水公園1箇所、歩道新設	柴田町							362	別添1
1-A-2	公園	一般	柴田町	直接	柴田町	都市公園施設長寿命化計画策定調査	町内41公園	柴田町							6	
合計														368		
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27	H28		
1-B-1	道路	一般	柴田町	直接	柴田町	連絡橋整備事業	橋長L=85.1m	柴田町							884	
合計															884	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-B-1	連絡橋で「花(桜)回廊」を結節することで船岡城址公園と白石川堤の回遊性は格段に向上し、隣接町との交流が盛んになって地域経済の活性化が図られると同時に、中心市街地に交流を呼び戻して新たなにぎわいの再生を生む。															

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	備考
									H23	H24	H25	H26	H27	H28		
1-C-1	公園	一般	柴田町	直接	柴田町	船岡城址公園バリアフリー化、公園施設更新事業	町内5公園	柴田町							54	
1-C-2	公園	一般	柴田町	直接	柴田町	街区公園整備事業	3公園 (A=9,000㎡)	柴田町							121	
1-C-3	活動推進	一般	柴田町	間接	公園美化利用サポーター	公園整備・管理ワークショップ	ワークショップの開催	柴田町							3	
合計													178			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	都市再生整備計画により、交通の利便性・安全性の向上と回廊拠点の景観づくりを進め、併せて、船岡城址公園内の園路や回廊沿いの公園施設の更新により、回遊行動にゆとりと広がりを加えて地域ポテンシャルの早期発現を図る。	
1-C-2	都市再生整備計画と同様に、地域の方や利用者などの創意工夫を活かして回廊拠点の整備を進めることが、「花(桜)回廊」の魅力を最大限に引き出して、美しい都市空間の創出と景観づくりに対する意識の高揚を図る。	
1-C-3	都市再生整備計画・公園施設長寿命化計画において、構想段階から多くの人の関わりを深めて、利用の仕方や楽しみ方、将来の管理に至るまでの自主性を担保して、計画的に安定的な協働の実践を継続して地域活動の向上を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> 展望デッキ、しばた千桜橋などの歩行環境の整備、歴史観光ガイド活動などの整備を推進したことにより、船岡城址公園の魅力が向上し、船岡城址公園への来訪者数の増加に繋がった。 歩道の新設が行われた結果、船岡城址公園にアクセスする道路の安全性が向上し、船岡城址公園への来訪者数の増加に繋がった。 「花(桜)回廊」の整備により、市街地内の歩行環境が向上したことが、ノルディックウォーカー活動団体の増加、愛好人数の増加に貢献している。 歴史観光ガイドツアーの開催により、町内の歴史を探訪しながらのまち歩きの楽しさが、町民に広がったことが、ノルディックウォーカー活動団体の増加、愛好人数の増加に貢献している。 	
II 定量的指標の達成状況	指標①（さくらの季節（4月）の船岡城址公園来訪者数）	最終目標値	255,000人	目標値と実績値に差が出た要因	従前値の1割増を目指したが、展望デッキ、しばた千桜橋などの歩行環境の整備、歴史観光ガイド活動などのハードソフトの一体的な整備を推進したことにより、2割増以上の結果を得た。
		最終実績値	292,524人		
	指標②（ノルディックウォーカーの年間延べ活動人数）	最終目標値	1,310人	目標値と実績値に差が出た要因	「花(桜)回廊」の整備により、市街地内の歩行環境が向上し、併せて、歴史観光ガイドツアーの開催により、町内の歴史を探訪しながらのまち歩きの楽しさが、町民に広がったことが、ノルディックウォーカー活動団体、愛好人数の増加要因の一つと考えられる。
		最終実績値	2,448人		
	指標③（公園施設の改築更新（事業保全）数）	最終目標値	2.3%	目標値と実績値に差が出た要因	公園施設長寿命化計画を策定し、計画的な改築更新（事後保全）を行っており、この期間内について、目標値を上回る改築更新数となった。
		最終実績値	1.7%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 今回の事業をきっかけに、町の公園整備で、初試みの住民参加（ワークショップ）による検討が行われ、ユニークな街区公園が実現した。また、維持管理にも焦点を当てたワークショップを実施したことにより、ワークショップ参加者から公園の維持管理ボランティアへと関わりを形を変え、地域コミュニティが育まれている。 歴史観光ガイド育成ワークショップでは、歴史案内看板等の検討成果を4月に開催される桜まつりで実際に設置・活用してレビューし、結果をフィードバックして、次年度ワークショップで活かすことにより、観光客の声へ対応しながら、町の魅力を発信する取り組みに繋がった。 本事業のワークショップ組織が母体となり、柴田町民による初の観光ボランティア団体となる「しばた歴史観光ガイドの会」が発足された。また、活動メンバーは、観光ボランティア以外にも、まちづくりやイベントの委員として参加するなど、柴田町の魅力向上のキーマンとして活躍している。 白石川千桜公園としばた千桜橋は、柴田町の知名度を向上させ、インバウンド事業の誘客に貢献している。 			

3. 特記事項（今後の方針等）

- 主たる基盤整備（ハード）は進展し、今後の効果の持続は活用方策（ソフト）の充実にかかっている。
- まちのイベント活動では、商店街との連携が求められているが、昨年度からは、創業者支援事業への参加者がさくらマルシェの実施主体となり、これまでになかった新しい人材も育ちつつある。
- 賑わいの持続、発揮のためには、観光ボランティア団体、ノルディックウォーカー団体、まちの活性化の新たな主体、それぞれの活動の他、団体の交流も必要と考えられる。
- 柴田町の魅力向上により、来訪者の増加につながっているが、観光ボランティア主催による歴史観光ガイドツアーでは、歩行者の交通安全面での課題があり、まち歩きを楽しめるようにするためには、人と車が共存できるような環境づくりに取り組む必要がある。
- 船岡城址公園は、様々な部署により事業が行われ、魅力が向上してきたが、維持管理においては、非効率な点も見られるため、維持管理の一元化された取り組みが必要と考えられる。
- 船岡城址公園の魅力でもある自然を大切に守りながら、整備・維持管理を行っていく必要がある。

計画の名称	1 ”花のまち柴田創生” 「花（桜）回廊」で息づく市街地の新たなにぎわいの再生	交付対象	柴田町
計画の期間	平成23年度～平成28年度（6年間）		

A-1新船岡地区都市再生整備計画事業
町道館山2号線道路改良事業 1箇所
町道館山4号線歩道整備事業 1箇所
白石川堤外地環境整備事業 1箇所
歴史観光ガイド育成
桜の小径形成事業
事後評価

公園施設長寿命化計画策定事業
町内41公園
凡例：●公園位置

B-1
連絡橋整備事業
L=85.1m

C-1
船岡城址公園バリアフリー化、
公園施設更新事業 町内5公園
(船岡城址公園・船岡駅前緑地・
山下公園・旭ヶ丘公園・中曽根公園)

C-2
街区公園整備事業
3公園(A=9,000㎡)
(4号公園・5号公園・6号公園)

C-3
公園整備・管理ワークショップ
ワークショップの開催

